

第63回 吉村 晋平さん (金沢大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第63回目は、吉村 晋平さんにご執筆いただきました。

心の健康のための基礎研究

これまでの研究では、総じて言えば、どのように認知を変えれば精神的問題が改善するのかを扱ってきました。このテーマには、大学院で学んだ臨床心理学の理論や経験則的逸話にあまり納得いかなかった体験が影響しています。そこで、心理療法の作用に関わる認知がどのように働き、どのような脳機能の変容につながるのかを研究しようと思いついたことが研究活動の始まりになりました。結果として、自己認識に関わる神経ネットワークとうつ病の関連、楽観性の操作によるリスク認知の変容、感情認知と身体的痛みの相互作用、機械学習によるうつ病の識別などの一連の研究に取り組みました。

今現在は、感情制御の効果的な促進に関心を持っています。感情の制御は方略を知っていても実際はうまくできないことが多いです。自分の中の感情を正確に認識するよう脳機能の変容を促すことでより効果的な感情の制御方法が得られるのではないかと考えています。

博士号取得からちょうど10年経ち、若手から中堅の研究者になろうとしています。心理学に限らず、他の研究分野の方々との協同作業を進め、基礎研究と臨床実践の橋渡しができるようになりたいと考えています。

吉村 晋平 (Shinpei YOSHIMURA)

【所属】 金沢大学 人間社会研究域人間科学系

【連絡先】 syoshimura@staff.kanazawa-u.ac.jp

【HP】 https://www.researchgate.net/profile/Shinpei_Yoshimura